



同志社  
歴史散歩

松山

二宮 源兵

西村翁のこと

春や昔 十五万石の 城下かな  
という正岡子規の名句が象徴する松山は、今  
は人口二十七万の大都市の様相を呈してい  
る。

筆者は、一昨年の春以来、四十年振りに松  
山に移り住んで感ずることは、市の周辺に飛  
行場、丸善石油、帝人、東洋レーヨンなどの  
大工場が建設されて、松山は今や一大文化都  
市に変容しているのに驚ろいている。これに  
加うるに、道後温泉とともに市の周辺に多く  
の新しい温泉がボーリングされて湧出し、松  
山は今や観光ブームに湧いている。

同志社と松山との関係の道を拓いた人物は  
西村清雄老翁（九十二才で現存）であろう。  
西村先生は、松山藩の儒者の家に生れたが、  
若くしてキリスト信徒となり、松山地方に福  
音の宣伝をする熱意止みがたく、その準備の  
ために当時の同志社神学校に入学されたので  
あった。しかし、松山における事情が先生の  
存在を必要とし、在学僅かに一年にして同志  
社を去られたのであるが、この一年間の同志  
社生活において、先生の終生の親交を結ばれ

た友が牧野虎治先生や故三輪源造先生であつ  
た。因みに、西村先生は、同志社在学は一年  
であつたけれども、牧野先生などの推薦によ  
つて同志社同窓の一員となつておられる。

西村先生は、松山や宇和島地方の伝道に熱  
心に尽されていたのであるが、この伝道の途  
上痛感されたことは、当時の日本の勤労青年  
に対する教育が著しく欠如していることであ  
つた。そこで、先生は、当時松山に宣教師と  
して働いておられたミス・コルネリオ・ジャ  
ドソンと協議の上、松山夜学校を創立して勤  
労青年の教育に専心されることになつたので  
ある。恐らく、これが勤労者教育の夜学校、  
今日の定時制高校の日本における濫觴といえ  
るのであろう。

その門下生

この松山夜学校は、現在松山城南高校（全  
日制）となつて、本来の目的を失つてはいる  
が、依然キリスト教主義の学校として、代々  
の校長は、同志社卒業生によつて受けつがれ  
ている。西村校長のあとには二神喜十氏が、二  
神校長のあとは関岡武太郎氏（現在）が校長  
となつている。二神、関岡両氏ともに、親し

く西村先生の薫陶を受けて同志社に進学した  
純粹の西村先生の門下生である。

西村先生のことでもう一つ忘れられないこ  
とは、先生が二十才前後のとき、松山から宇  
和島へ伝道に行く途中、法華津峠ほけつとぎで作られた  
讚美歌四〇四である。

山路こえて ひとり行けど

主の手にすがる 身はやすけし

という第一節にはじまって、この人生を神に  
よりすがって送るという第六節にわたる名詩  
である。曲は、アアロン・チャピンのもので  
「ゴールデン・ヒル」と題する名曲であるこ  
とは、衆知のことである。この歌の歌碑が、  
法華津峠と城南高校の校庭に立っている。法  
華津峠は、南与の美しい海岸を一望の下に見  
渡せる景勝の地で、今は南与地方の一名所と  
なっている。

その後、有為な青年学徒が松山夜学校から  
同志社に続々進学して、既に二十数名の牧師  
や教育者を出していることは特筆するに価す  
ることである。故平岡往次郎牧師、故魚木忠  
一教授（同志社大学 神学部）、今井新太郎氏  
（東京家庭学校長）、野本教男牧師（宇都宮教  
会）、重松権太郎牧師（ハワイ・カワイアイ教

会）などは、その最たるものである。筆者  
は、松山夜学校の卒業生ではないが、青年の  
頃からとくに西村先生の感化をうけてキリス  
ト信徒となり同志社に入學した一人である。

#### 活躍する同志社人

大正の初期以来、松山地方から同志社へ進  
学する者が頓に増加して来た。これは前記し  
た先輩達に刺激されたことが極めて多い。中  
学校や女学校に進学する者も段々多くなっ  
て、今日では松山地方に現存する同志社校友  
および同窓生の数は、確実な数はつかみにく  
いが六百名乃至七百名あるといわれている。  
東洋レーヨン、帝人、丸善石油などの大工場  
にも、それぞれ数名乃至十数名の同志社校友  
が活動していることは心強い限りである。筆  
者は、一昨年世界周遊の途次、世界の諸所で  
活動している同志社卒業生に出会って、今や  
同志社が世界的になっていることを知って嬉  
しく思ったが、ここ松山の地にかくも多くの  
同志社関係が存在していることを思うて力強  
く感ずる次第である。

目下松山地区の同窓会の世話をして下さっ  
ているのは、高橋忠三郎氏（共同商事社長）

と北川博章氏（松山工業クラブ主事）である。  
北川氏の松山工業クラブの事務所は、松山市  
の中心である大街道と一番町との角にある伊  
与鉄会館の六階にあるから、松山の同窓会に  
用事のある方、また松山に遊びに来られる方  
々は、同所を訪ねられたい。

温泉も近し 海公うみこうの跡 石手寺いしでら

法公ほっこう弘法大師

石手寺いしでら 四国八十八カ所の寺々の一寺

今は松山市内

という読み人知らずの句は、道後温泉と八十  
八カ所を巡拝する巡礼とに因みの多い松山の  
特徴をよくあらわした俳句である。

（大一〇・大神卒・松山東雲学園長）

